

卓上手織機

取扱説明書

- ・組立て方法
- ・縦糸の巻き方（整経^{せいけい}）
- ・平織り・仕上げ

平織りは手織りの基本です。縦糸と横糸が一本ずつ交差して出来上がる、もっとも簡単に織れる織物です。

織り方は単純ですが、糸の材質や色合いの変化によって応用範囲が広く、工夫一つでいろいろな楽しい織物が作れます。

手織りの面白さ、難しさは「平織りで始まり、平織りで終わる」といわれています。まず、この平織を十分に練習して、よく理解してから変わり織へ進んでください。



■セット内容

- ・本体（2本）
- ・糸巻き棒（1本）
- ・布巻き棒（1本）
- ・綜統（1セット）
- ・アテ紙（3枚）
- ・杼（3本）
- ・糸巻きキャップ（4本）
- ・毛糸（2個）

※糸巻き棒と布巻き棒は同じものになります。

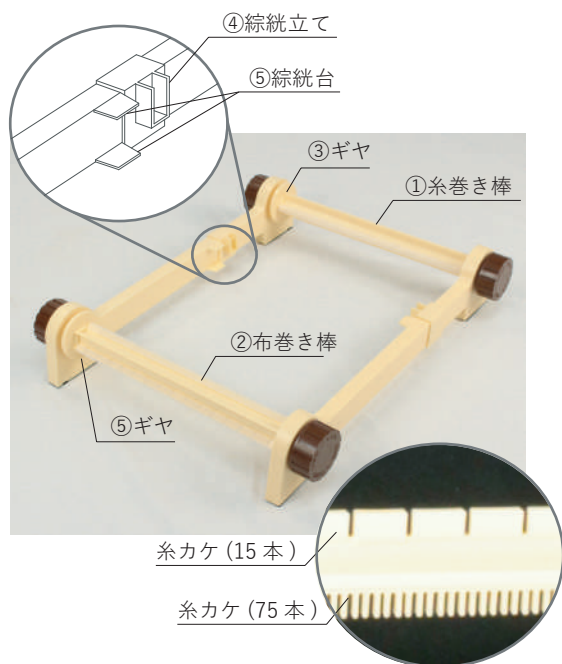
■組立て方法

糸巻き棒と布巻き棒のネジをはずし、本体を図のように組み立てます。ギヤのついている側に本体Aがくるようにし、本体の凸部（綜統台）が内側を向くようにして固定してください。

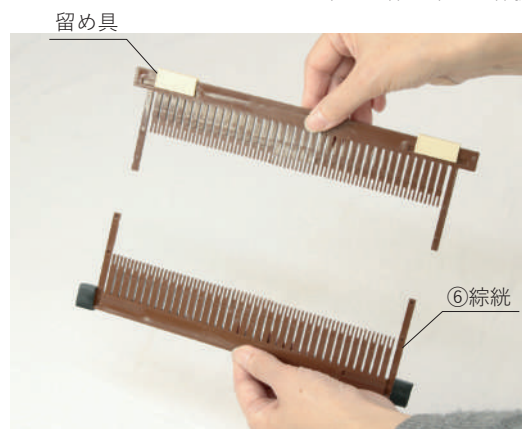


株式会社大石天狗堂

部品の名前



※糸巻き棒・布巻き棒拡大



①糸巻き棒

縦糸を巻き取る棒、縦糸を掛ける糸カケが2ヶ所あり、それぞれ15個の糸カケと75個の糸カケがあります。

②布巻き棒

縦糸のもう一方の端を取付け、織りあがった布を巻き取る棒。

③ギヤ

糸巻き棒と、布巻き棒の片側に各一個ずつついており、回転を固定します。

④綜統立て

縦糸をセットするとき、綜統をさしこみます。

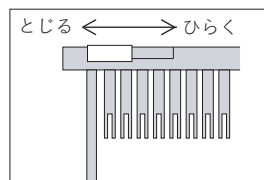
⑤綜統台

縦糸を上下に分けるため、綜統を上のにせたり、押し下げた綜統を留める台。

⑥綜統

綜統は、縦糸を通し上下に動かすと、縦糸が上下に分かれ杼道ができます。この杼道に横糸を通して手前に引き寄せる成の役目もします。

この綜統は、縦糸を通しやすくするために2つにわかれます。白色の2つの留め具を中央によせるとはずれません。綜統⑥に綜統⑤をさしこんで留め具を外側に寄せるとロックします。



※綜統の先は、細く折れやすいので十分注意して使用してください。

⑦アテ紙

糸巻き棒に縦糸を巻く時、縦糸の長さを平均にするため縦糸と一緒に巻きます。

⑧毛糸

練習用にご使用ください。練習用の糸がなくなれば、縦糸は綜統の穴に通る太さであれば、どんな糸でも使用できますが、強く張りますので、あまり切れやすい糸は避けて下さい。横糸は太さ・材質に関係なく、いろいろな糸が使用できます。

⑨杼

横糸を巻き付けて、杼道に横糸を通す道具。

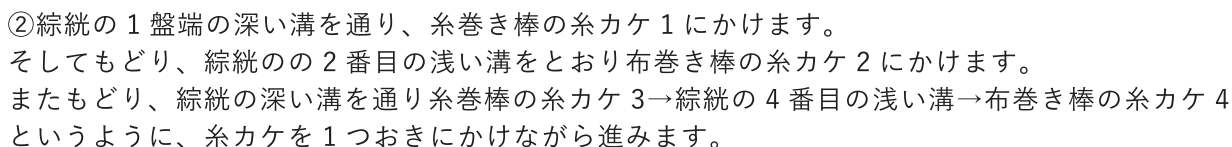
⑩糸巻きキャップ

糸巻き棒と布巻き棒の糸カケにかぶせ、縦糸がぬけないようにします。

織物の長さが 15cm 以内の場合



①縦糸（毛糸）の先を、布巻き棒の糸カケの1番端（糸カケ1）に結びつけます。



③全部かけ終わったら縦糸を糸カケに結び留めます。

④縦糸が全部平均に張れているかを確かめてから、糸巻き棒・布巻き棒の両方の糸カケに糸巻きキャップをはめます。

⑤綜統の溝すべてに1本ずつ糸が通っているかを確認してから、綜統④を綜統⑤にさしこんで留め具をロックします。綜統を綜統立てから外してから、布巻き棒を手前に少し回して縦糸をピンと強く張ります。

縦糸の巻き方②

織物の長さが 15cm 以上の場合

■準備

・糸巻き棒と布巻き棒の糸カケは 15 本の方を使用するので、両方とも上に向け、ギヤのついているネジをしめて固定します。

・縦糸（毛糸）を用意します。（縦糸の作り方参照）

綜統は 2 つにわけ、綜統⑦だけを綜統立てに差し込みます。

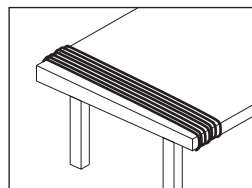
■縦糸の作り方

テーブルの端や引き出しにぐるぐる巻きつけて、1ヶ所をハサミで切ります。

この時、糸がバラバラにならないよう気を付けること。

一度にたくさんの糸を巻き付けると糸の長さが変わったり、もつれる場合があるので、20~30 本くらいが適当です。

縦糸の長さは、織りたい長さの +30cm 程必要です。

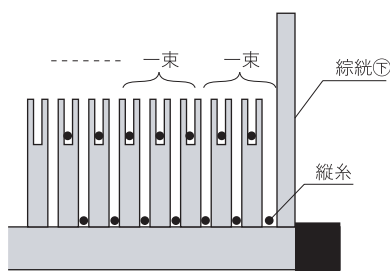


1



縦糸の束をくずさないように 1 本ずつ抜き取り、5 本ずつ束ねて結び目を作ります。結び目を糸巻き棒の糸カケ 1 につけます。

綜統の 1 盤端の深い溝から順に 1 本ずつ通します。



2



全部の縦糸を通し終われば、糸巻き棒の両方の糸カケに糸巻きキャップをはめます。
綜統④を綜統⑦に差しこみロックします。

3

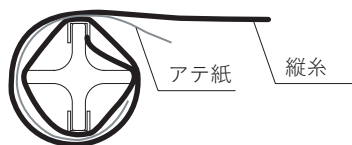


糸巻き棒のギヤのついているネジをゆるめ、左手で縦糸をまとめて握ります。たるんだ糸がないように直しながら、右手で糸巻き棒ネジ（ギヤのない方）をもち、右巻に 2 回転ほど巻き取ります。

4



2回転ほど巻き取ったところで、先に巻いた縦糸の山に次の縦糸がはまり込まないようにアテ紙を入れて巻き取っていきます。



5



縦糸の端を布巻き棒から12~13cmほど余して、糸巻き棒のネジを締めます。余分な縦糸は、5本ずつ束ねて布巻き棒の糸カケに一周巻き取ります。

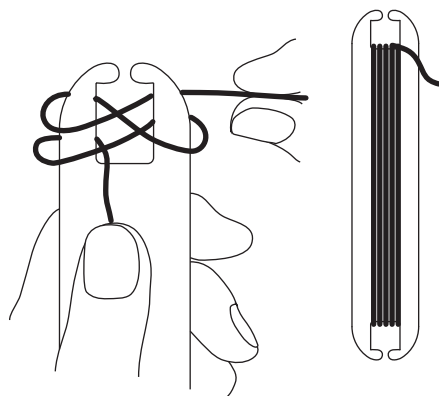
6



全部の縦糸がかけ終われば、布巻き棒の両方の糸カケに糸巻きキャップをはめます。縦糸の張りが平均しているかを、手のひらで確かめて、ゆるんでいる糸があれば糸の端を引っ張って直します。

糸巻き棒を半回転程巻き、縦糸をピンと張ってネジをしっかりと締めます。そうすることで、5本ずつ束になっている縦糸の間隔がきれいにそろいます。

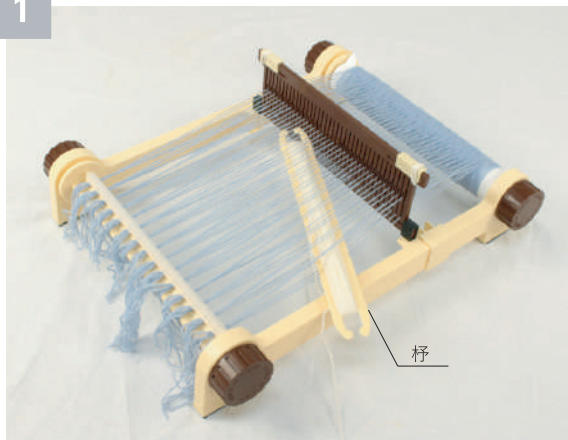
■横糸の巻き方



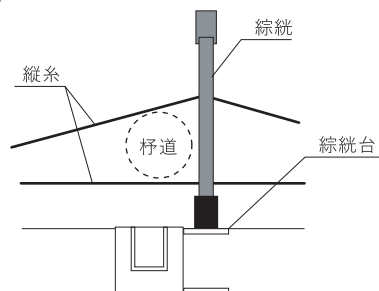
杼の先端に横糸の端を8の字に2回巻きつけ、たてにぐるぐる巻きます。横糸を2色使うときは杼が2本、3色使うときは3本の杼が必要となります。

織り方

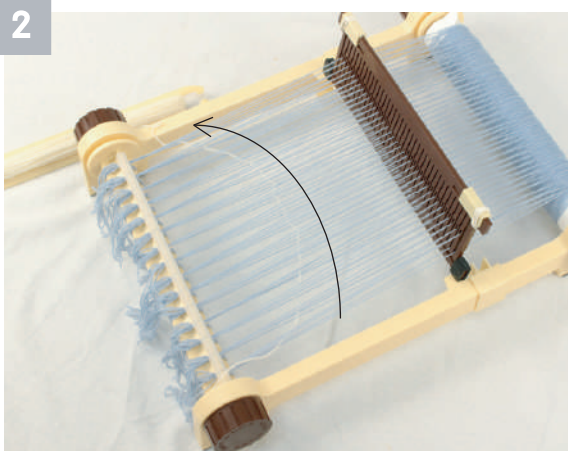
1



綜絊を綜絊台の上に立てると、縦糸が上下にわかれま^{ひみち}す。この分かれたところを**杼道**と言います。この杼道に横糸を巻いた杼を右から左に通します。



2



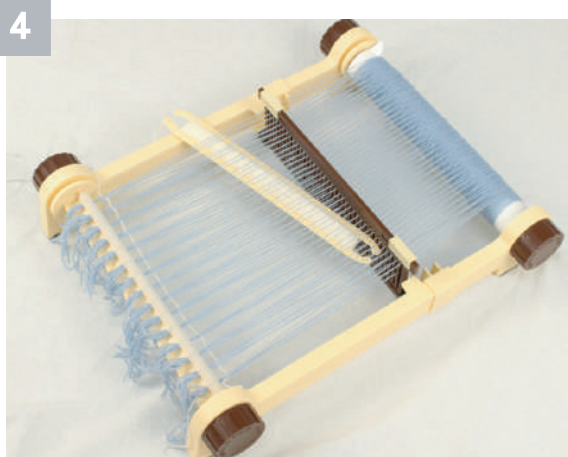
杼を左側まで通したら、横糸にゆとりをもたせます。この時ピンと張ると織りあがりの幅がつまってしまいます。

3



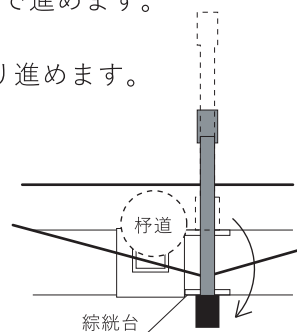
右手で綜絊を持ち、今通した横糸を手前へ引き寄せます。

4



次に綜絊を綜絊台の下まで押し下げ、下の綜絊台に引っかけると杼道ができます。その杼道に左側にある杼を左側から右へ通し、③~④と同じ要領で進めます。

①~④を繰り返して織り進めます。



■ 織った布を巻き取る時



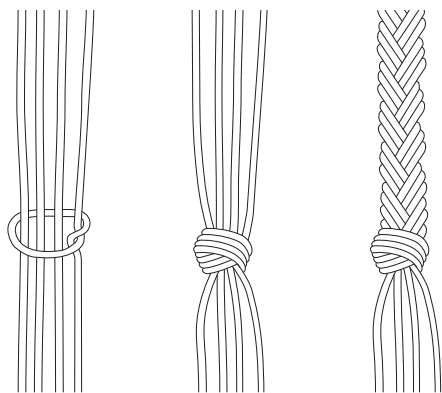
織りが進むにつれて杼道が小さくなります。この時は、糸巻き棒と布巻き棒のギヤのついている2つのネジをゆるめ、手前の布巻き棒に織れた布を巻き取ります。

織り終り



横糸は、縦糸の途中から上に出します。縦糸は、糸巻き棒からはずして結び目をほどこいて綜統からはずします。

縦糸を3~5本ずつ束ねて、結び房を作ります。布巻き棒の縦糸も同様です。



房の結び方は図のような方法があります。織物にあう結び方を選んでください。房は、ハサミできれいに切りそろえてください。

横糸を代えるとき

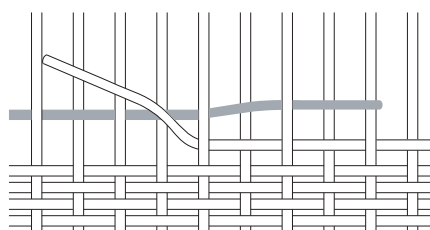


杼に巻いた横糸がなくなったときや、横糸の色を代えるときは、横糸を縦糸の途中から上に出して少し余らせておきます。

次に新しい横糸を縦糸 3 本ほど手前から入れて織り進めます。（縦糸 3 本分だけ横糸が 2 本入ります。）

2cm 程織った後、上に出ている 2 本の横糸を切り取ります。

横糸が 2 本入る



作品例



糸を変えるだけで全く違った雰囲気の作品ができあがります。

基本の織り方に慣れたら、ストライプやチェックなどの柄編みにもアレンジしてお楽しみください。

お問合せ

株式会社大石天狗堂 〒612-8082 京都市伏見区両替町 2 丁目 350 番地 1

☎ 075-603-8688 (代)

📄 075-603-8677

受付時間 9:00~18:00 (土日祝日除く)

✉ info@tengudo.jp

URL: <https://www.tengudo.jp/>

